



## 2023年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年6月13日

上場会社名 株式会社SKIYAKI 上場取引所 東  
 コード番号 3995 URL <https://skiyaki.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小久保 知洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 酒井 真也 TEL 03 (5428) 8378  
 四半期報告書提出予定日 2022年6月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年1月期第1四半期の連結業績（2022年2月1日～2022年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年1月期第1四半期	535	△18.0	42	—	50	—	67	44.8
2022年1月期第1四半期	653	—	△23	—	△12	—	46	—

(注) 包括利益 2023年1月期第1四半期 65百万円 (30.5%) 2022年1月期第1四半期 49百万円 (471.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年1月期第1四半期	6.26	6.24
2022年1月期第1四半期	4.33	4.31

(注) 2023年1月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しており、2022年1月期第1四半期は当該会計基準等を遡及適用した後の数値を記載しております。これにより、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年1月期第1四半期	3,506	1,227	34.8
2022年1月期	3,669	1,161	31.5

(参考) 自己資本 2023年1月期第1四半期 1,219百万円 2022年1月期 1,154百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年1月期	—	—	—	—	—
2023年1月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年1月期の連結業績予想（2022年2月1日～2023年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,455	5.0	140	45.1	145	53.5	106	△12.9	9.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2023年1月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しており、対前期増減率は当該会計基準等を遡及適用した後の数値との比較を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年1月期1Q	10,757,500株	2022年1月期	10,750,500株
② 期末自己株式数	2023年1月期1Q	8,038株	2022年1月期	8,038株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年1月期1Q	10,742,695株	2022年1月期1Q	10,717,462株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	5
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により依然として厳しい状況が続いており、未だ収束の見通しも立っておらず、今後の動向は極めて不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、クリエイターに係るファンクラブ（以下「FC」という。）サービス、クリエイターグッズ等のECサービスの提供サービス数を増やし、取引規模を堅調に拡大させて参りました。これらの事業展開により、2022年4月末日現在における当社グループが提供するプラットフォームの総登録会員数は、467.1万人（前年同四半期比19.9%増）となりました。また、総登録会員数のうち有料会員数は、101.4万人（同16.7%増）となっております。

FCサービスは、有料会員より毎月又は毎年受領するファンクラブ会費のうち、当社が受領する手数料を売上高として純額計上するストック型ビジネスであり、当社プラットフォームの中核である「Bitfan Pro」及び「Bitfan」のFCサービスに加え、(株)エンターメディアFCが提供するFCサービスにより構成され、安定的かつ継続的な収入が見込まれるという特性を有しております。当第1四半期連結累計期間においては、サービス数及び有料会員数の増加により、FCサービスの売上高は343,580千円（前年同四半期比15.4%増）となりました。当該売上高の増加に伴い、販売費及び一般管理費である決済代行事業者向け回収手数料等の変動費が増加しました。

ECサービスは、クリエイターグッズ等のECサイトでの販売代金のうち、当社が受領する手数料を売上高として純額計上するフロー型ビジネスであり、「Bitfan Pro」及び「Bitfan」のECサービスにより構成されており、クリエイターによるツアー実施等の活動の有無により商品の出荷時期及び出荷金額が大きく変動する特性があり、ストック型ビジネスであるFCサービスと比較して、四半期ごとの売上高の変動性が大きくなる傾向にあります。当第1四半期連結累計期間においては、前年同四半期と比較してクリエイターグッズ等のオンラインでの販売が減少したことにより、ECサービスの売上高は146,347千円（同42.3%減）となりました。当該売上高の減少に伴い、倉庫物流費用（売上原価）及び決済代行事業者向け回収手数料（販売費及び一般管理費）等の変動費が減少しました。

その他の売上高は、電子チケットサービスであるSKIYAKI TICKET及びBitfan Passのサービス提供、クリエイターのイベント制作、クリエイターのオリジナルグッズの企画製造販売を行うMD（マーチャンダイジング）サービスの提供、その他上記に含まれないサービスに係るシステム提供等に加え、前連結会計年度においてO2O事業を展開する(株)SKIYAKI LIVE PRODUCTIONを連結の範囲から除いた影響により、45,946千円（同55.2%減）となりました。

その他、連結子会社の減少に伴う人件費の減少等に加え、前連結会計年度中に実施した本社オフィスの一部解約等の影響により、販売費及び一般管理費が減少しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高535,874千円（前年同四半期比18.0%減）、営業利益42,923千円（前年同四半期は営業損失23,210千円）、経常利益50,398千円（前年同四半期は経常損失12,135千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益67,261千円（前年同四半期比44.9%増）となりました。

なお、当社グループは、報告セグメントを従来「プラットフォーム事業」及び「O2O事業」の2区分としておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「プラットフォーム事業」の単一セグメントに変更しております。これにより、セグメントごとの経営成績については記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は3,506,099千円となり、前連結会計年度末に比べ163,316千円減少しました。

流動資産については、現金及び預金の減少137,166千円、売掛金の減少65,261千円、前払費用の減少33,755千円等により、前連結会計年度末に比べ203,042千円減少し、2,920,321千円となりました。

固定資産については、有形固定資産が11,937千円、無形固定資産が288,176千円、投資その他の資産が285,664千円となり、前連結会計年度末に比べ39,726千円増加し、585,778千円となりました。これは主に、投資有価証券の増加51,662千円等によるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、2,278,568千円と前連結会計年度末に比べ229,014千円減少しました。

流動負債については、買掛金の減少493,013千円、預り金の増加283,460千円等により、前連結会計年度末に比べ202,997千円減少し、2,127,434千円となりました。

固定負債については、長期借入金の減少26,293千円等により、前連結会計年度末に比べ26,017千円減少し、151,134千円となりました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ65,698千円増加し、1,227,531千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加67,261千円、在外連結子会社に係る為替換算調整勘定の減少2,117千円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第1四半期連結累計期間における連結業績が概ね計画どおりに進捗していることから、2022年3月17日の「2022年1月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,748,321	1,611,155
売掛金	623,458	558,197
商品	544	1,621
前払費用	525,957	492,201
その他	225,297	257,323
貸倒引当金	△215	△178
流動資産合計	3,123,363	2,920,321
固定資産		
有形固定資産	12,087	11,937
無形固定資産	287,473	288,176
投資その他の資産		
投資その他の資産	296,550	327,440
貸倒引当金	△50,059	△41,775
投資その他の資産合計	246,491	285,664
固定資産合計	546,052	585,778
資産合計	3,669,416	3,506,099
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	536,852	43,838
1年内返済予定の長期借入金	150,412	138,962
未払法人税等	5,206	16,772
預り金	944,306	1,227,767
前受収益	553,858	—
契約負債	—	575,344
その他	139,794	124,748
流動負債合計	2,330,431	2,127,434
固定負債		
長期借入金	176,972	150,679
繰延税金負債	179	454
固定負債合計	177,151	151,134
負債合計	2,507,583	2,278,568
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	588,339	588,584
資本剰余金	562,309	562,554
利益剰余金	3,669	70,930
自己株式	△346	△346
株主資本合計	1,153,972	1,221,723
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	181	△1,936
その他の包括利益累計額合計	181	△1,936
非支配株主持分	7,679	7,744
純資産合計	1,161,832	1,227,531
負債純資産合計	3,669,416	3,506,099

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年4月30日)
売上高	653,652	535,874
売上原価	264,347	154,611
売上総利益	389,304	381,262
販売費及び一般管理費	412,515	338,339
営業利益又は営業損失(△)	△23,210	42,923
営業外収益		
受取利息及び配当金	14	46
受取家賃	4,997	—
持分法による投資利益	7,386	—
債務免除益	—	7,645
その他	177	910
営業外収益合計	12,576	8,602
営業外費用		
支払利息	788	764
持分法による投資損失	—	362
その他	713	—
営業外費用合計	1,501	1,127
経常利益又は経常損失(△)	△12,135	50,398
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	27,635
持分変動利益	—	2,025
特別利益合計	—	29,661
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△12,135	80,060
法人税、住民税及び事業税	1,033	9,555
法人税等調整額	△59,530	3,178
法人税等合計	△58,497	12,734
四半期純利益	46,361	67,325
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△61	64
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,423	67,261

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年4月30日)
四半期純利益	46,361	67,325
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,593	△2,122
その他の包括利益合計	3,593	△2,122
四半期包括利益	49,955	65,203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,017	65,138
非支配株主に係る四半期包括利益	△61	64

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)

「II 当第1四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおり、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年2月1日 至 2022年4月30日)

当社グループは、「プラットフォーム事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、報告セグメントを従来「プラットフォーム事業」及び「O2O事業」の2区分としておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「プラットフォーム事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、前連結会計年度において、「O2O事業」を展開する(株)SKIYAKI LIVE PRODUCTIONの株式を一部譲渡し持分法適用の関連会社とするなど、その他子会社及び関連会社の整理を含むグループ再編を実施したことで、当社グループの事業展開、経営資源の配分及び経営管理体制の実態等の観点から報告セグメントについて再検討した結果、「プラットフォーム事業」の単一セグメントとして開示することが、当社グループの経営実態をより適切に反映するものと判断したためであります。

これにより、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。